

授業改善推進プラン

教科名	英語	担当教員	中野 亜弥美	祖母井 千秋	貴志 那実江
-----	----	------	--------	--------	--------

1 昨年度の授業改善の成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組み、挙手をして発言する生徒も多く見られた。 ・教科書とワークシートを活用し、コミュニケーション活動を多く取り入れ基礎基本の定着を図った。 ・単語テストなどを定期的に行い、語彙力の強化を図った。 ・パフォーマンステストを実施するなど、4技能をバランス良く指導できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれ、学力下位層の生徒の割合が増えている。 ・授業中は理解できているが、定着に至らない生徒が多く、授業での反復練習や家庭学習の質を高める工夫が必要である。

2 今年度の本校生徒の学習指導上の課題

1 年	<p>① 基礎的・基本的な内容の定着</p> <p>言語活動への取り組みは意欲的に学習をしているが、書字活動においてはまだ不十分である。音声と文字が一致しないため、音声と文字の関連や場面に応じた正しい使い方をしっかり定着させる必要がある。</p> <p>② 主体的な学習態度の育成</p> <p>授業に意欲的に取り組む生徒が多い。ペアワークや音読などの発表活動にも恥ずかしがらずに取り組んでいる。単語テストにも意欲的に取り組んでいる。英語への意欲・関心が高い生徒が多いため、反復学習や家庭学習の習慣を身に付けさせ、しっかり学習方法の提示をしていくことが必要となる。</p>
2 年	<p>① 基礎的・基本的な内容の定着</p> <p>言語活動への取り組みに意欲的で、楽しみながら学習しているが、単語や文法事項などの定着が不十分な場面も見られる。既習事項を繰り返し取り入れながら反復練習させ、正確に運用できる力を身に付けさせていく必要がある。</p> <p>② 主体的な学習態度の育成</p> <p>英語への関心・意欲が高い生徒が多く、授業で積極的に発言したり、ペアワークや音読、発表活動にも意欲的に行ったり、英語活動に活発に取り組んでいる。今後は家庭学習の中で、授業で学んだ内容だけでなく、学習した内容を自分に置き換えた場合に運用できる英語力を身に付けられるように、指導方法や内容を工夫していく。</p>
3 年	<p>① 基礎的・基本的な内容の定着</p> <p>学習をした内容を授業中には理解できているが、すぐに忘れてしまうことが多いため、小テストやコミュニケーション活動を計画的に行うことにより授業時に反復学習を多く取り入れ、学習内容の定着を図る必要がある。</p> <p>② 主体的な学習態度の育成</p> <p>ほとんどの生徒が真面目に授業に取り組んでいる。積極的な発言や大きい声での音読には偏りがあるものの、ペアワーク等のコミュニケーション活動には積極的に取り組む生徒が多い。また、昨年度に比べると定期的な小テストに意識的に取り組んだり、自主的にワークに取り組んだり、目標をもって学習するようになった生徒が増えている。今後の課題としては、与えられたテーマに関して自分の考えを発信できるような力を伸ばしていく必要がある。</p>

3 今後授業を行っていく上での「指導方法の課題分析」と「具体的な授業改善案」

	指導方法の課題	具体的な授業改善案
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語や文法事項を書く力が不足している。 ・ 質問事項に対して、適切な表現で応答する力が不足している。 ・ 理解が遅れがちな生徒や、指示が通らない生徒への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語や文法事項の反復練習、家庭学習の習慣を徹底する。単元ごとに単語テストや文法テストを行い、定着度合いを確認する。 ・ 日頃から英語の音声に慣れさせるため、英語での指示を増やしていく。授業内において、日常で使用する会話表現を繰り返し練習する時間を増やす。即興で応答ができるように、表現力の向上を図る。 ・ ペア活動等や教え合いをする環境を作る。教員側も英語で指示をしていく環境を整える。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内で学んだ文法事項や新出語句がなかなか定着しない。 ・ 質問されたことに対して、適切な表現で応答する力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動で、既習の単語や文法事項の反復練習を取り入れ定着させていく。また、小テストなども取り入れ、定着の度合いを確認していく。 ・ 授業内において、日常で使う会話表現を反復して練習する時間を増やし、日頃から英語の音声に慣れさせるとともに、即興的に応答できるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着を図るため、授業時の内容の反復学習を増やしていく。 ・ 条件英作文など場面に応じて書く能力が不足している。 ・ 長文を読んで概要を正確に把握したりする力を増やしていく。 ・ リスニングにおいて、内容の聞き取りや書き取り、質問に対して適切な表現で答える力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語、連語及び慣用表現については、定期的に小テストを行う。文法事項に関しては、計画的に復習させていく。 ・ 身近な話題についてテーマを与え、論理的に書く練習を増やしていく。また、まとまった文章を読んだうえで自分の考えをまとめて書く練習を行う。 ・ 様々なジャンルの文章を読み長文に慣れ親しませる。 ・ 様々なジャンルの文章を用いて、要約練習や英問英答の練習をする機会を増やしていく。 ・ リスニング教材等を活用し、英語の音声に慣れ親しませる。また、聞いた内容の要点や書き取り、適切に応答できる力を伸ばしていく。

4. その他(補完的内容及び発展的内容に関する指導について、コンピュータの活用など)

- ・ 少人数授業を効果的に行うため、ワークシートの共有や進度調整などを行っている。
- ・ 全学年でデジタル教科書を導入し、視覚的に理解を助ける工夫をしている。